

日程表

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
1日目 (9月1日)	大ホール(5F)					13:10 会頭講演 震災から 未来へ 伝統医学の 生きる 街づくり 関 隆志	招待講演 糖尿病の 中医学的治療 呉 深清	15:10 シンポジウム① 科学的エビデンスに基づいた 伝統医学に向けて 座長：酒谷 薫 西本 隆 「ハイパースペクトラルカメ ラによる舌診」 山本 智史 「身体心理学について」 春木 豊 「触覚センサー」 尾股 定夫 「心身医学による皮膚疾患の 治療」 上田英一郎			懇親会 2F 宴会場
						受付					
2日目 (9月2日)	大ホール(5F)	8:50 招待講演 台湾の 中医事情 陳 志芳	9:10	10:10 シンポジウム② 震災において 伝統医学ができること —伝統医学を用いた 医学・医療・介護の再生 座長：関 隆志 「四川大地震における中医学 の貢献と今後の対策(仮題)」 呉 中朝 「四象医学を生かした被災者 健康診断の試み(仮題)」 キム ジョンヨル 「生薬を活かした復興まちづ くり—涌谷町の試み」 飯塚 顕 「被災地復興に生かす 統合医療」 桜井 充	12:00	13:00	シンポジウム③ 漢方と中医学の架け橋 —日本漢方の症例や治療法を 中医学の目で解釈して、 有効性や普遍性を抽出 座長：安井 廣迪 「江戸の医案を解析する(仮題)」 平馬 直樹 「矢数道明の臨床(仮題)」 矢数 芳英 「現代漢方を評価する(仮題)」 加島 雅之 「中醫師からみた日本漢方(仮題)」 戴 昭宇	15:00	17:00 シンポジウム④ 湯液(漢方)と鍼灸の理論の架け橋 —湯液(漢方)の理論と 鍼灸学理論の異同と そこから見えてくる 新たな中医学の方向性 座長：兵頭 明 王 曉明 シンポジスト 関 隆志 関口 善太 高 明 何 仲涛		閉会式
	小ホール(5F)	パネルディスカッション 日本に根付いてきた中医鍼灸 —日本各地の中医鍼灸研究会の活動報告 座長：浅川 要 篠原 昭二			休憩	一般演題					
会期中	研修室(4F)	ポスターセッション・展示会場(書籍・医薬品・鍼灸具など)									